

令和5年10月26日

アーカスプロジェクト2023 いばらき | アーティスト・イン・レジデンスプログラム

オープンスタジオ開催

2023年11月23日[木・祝] - 26日[日]

30年目を迎えたアーティスト・イン・レジデンスプログラム
招聘アーティスト2名による、90日間の滞在制作の成果発表！

On the November 23-26 ,
we, ARCUS Project open 2023
アーティスト・イン・レジデンスの活動成果発表。
resident artists' studios;
30年目を迎える今年は、
Laura Cooper [UK] and
ローラ・クーパー [英国]と進藤冬華 [日本]のアーティスト2名を迎えました。
Shindo Fuyuka [Japan].
90日間の滞在制作の成果を
We cordially invite you to
アーカススタジオで公開します。
2023.11.23 [Thu] - 26 [Sun] 13:00 - 18:00
come and join us as they share
作家と出会いアーティスト・イン・レジデンスを体感する4日間。
their works-in-progress of
「オープンスタジオ」で会いましょう。
90-day in Moriya, Ibaraki.
ARCUS
Artist in Residence - IBARAKI

この度、アーカスプロジェクトは、今年度、公募によって選ばれた2名のアーティストの滞在制作の成果を「オープンスタジオ」として公開します。

オープンスタジオとは、アーティストの制作場所であるスタジオを開放し、滞在制作の成果を芸術愛好家のみならず広く市民にお披露目する機会です。今年招聘したアーティストは、ローラ・クーパー（英国）と進藤冬華（日本）の2名。クーパーは英国と日本における人間とイノシシの対照的な関係を出発点に、石岡市の狩猟文化を調査しました。そして、進藤は、守谷で市内外に住む人たちと、この地域に移り住んだ先祖や家族の歴史を紐解き、それぞれの「背景を交換する」対話を通じて、制作を行いました。

オープンスタジオの醍醐味は、作品を鑑賞するだけでなく、アーティストに会って作品が作られる過程を

直接聞いたり、素材や表現について質問できる、交流の場でもあります。また、来場者が、アーティストたちと新しい情報や知識についてやりとりする場面もよく見られます。

期間中には、キッズツアーやトーク、エクスチェンジ・レジデンシー・プログラム報告会などの関連イベントも開催します。ぜひ事前の告知、取材にご協力賜りますようお願いいたします。

概要

会 期：2023 年 11 月 23 日 [木・祝] - 26 日 [日] 13:00-18:00
会 場：アーカススタジオ（茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 2 階）
入場無料、日本語通訳あり
ウェブサイト：<https://www.arcus-project.com/2023openstudios>
アーティスト：ローラ・クーパー（英国）、進藤冬華（日本）

会期中のプログラム

◎キッズツアー

11 月 25 日(土) 11:00~12:15

小学生対象のスタジオ鑑賞ツアー。〈日本語のみ〉定員 15 名 **※要予約**（予約締切：11 月 22 日[水]）

予約：以下の URL または、QR コードから

<https://www.arcus-project.com/2023openstudios>



◎ディレクターツアー

11 月 25 日(土) 13:30~14:30

アーカスプロジェクトディレクター小澤慶介によるガイド付きスタジオ鑑賞ツアー。

〈逐次通訳あり〉**※予約不要**

◎トーク「宇宙のレンズで、わたしたちのアートを考えるとき」

11 月 25 日(土) 15:30~17:00

スピーカー：芹沢高志（P3 art and environment 統合ディレクター）、小澤慶介

地球温暖化や戦争、疫病、自然災害などさまざまな危機に見舞われているいま、なぜアートなのでしょう。コモディティとして資本主義経済を加速させるアートが注目されるなか、一方で、もともと「技」を意味するそれは、この混迷する世界を解きほぐすものにもなると想定してみます。その時、それは形あるものとしてではなく、もしかしたら宇宙の営みのように絶えず運動しながら定まらないものとして現れ出てくるのかもしれません。芹沢氏がこれまでに手がけた仕事に触れながら、この時代とアートの結び目を読み解きます。

※予約不要 〈日本語のみ・英語ウィスパリングあり〉

レジデンスプログラム参加アーティスト



ローラ・クーパー（英国） Laura Cooper

1983 年、英国シュルーズベリー生まれ、バーミンガム在住。アーティストで映像作家であるクーパーは、人間が、人間だけではなく生き物を完全に知り得ることが不可能であるということに関心を寄せ、人間と動物の関係を探求したり人間中心的ではない生活を試みたりして制作を行っている。映像は詩的で、人が参加することで成立するドキュメンタリーであることが多い。特定の風景や動物、コミュニティとやりとりを繰り返しながら制作するため、これまでに農家や狩猟者、鷹匠、不動産開発者、療法士、科学者などのコラボレーションをしてきた。アーカスプロジェクトでは、イノシシをモチーフに英国と日本の動物をめぐる文化の違いに着目し、狩猟の現場を調査しながら作品制作を行う。



写真：小牧寿里

進藤冬華（日本） Shindo Fuyuka

1975 年、北海道生まれ、江別市在住。生まれ育った北海道の歴史や文化を紐解きながら、日本とそれに留まらぬ国々の近代化を進めた目には見えない力を照らし出すような作品を制作している。時に、近代社会の到来とともに制度として整備された美術館やその展示方式を使い、北海道の生活文化に言及するオブジェを展示している。その根底には、アーカイブや遺物、伝承などの記録をとおして「残すこと」への社会的な欲望とともにそれへの不信という両義性がある。一方で、近代社会の中央集権的なあり方をよそに、自治の思想に基づくアナキズムや地域社会の状況へも関心を寄せ、観察や調査を経て行うパフォーマンスやツアーを手がけている。アーカスプロジェクトでは、移民や防災をキーワードに調査を進め、制作を行う。

【関連企画】

エクスチェンジ・レジデンス・プログラム 2023 報告会

「韓国／日本滞在報告：融解する主体、発酵する社会」

11 月 26 日(日) 14:00～16:00

アーカスプロジェクトと韓国のセマ・ナンジレジデンスによるエクスチェンジ・レジデンス・プログラムの活動報告会を開催します。韓国に滞在した永田康祐と、アーカスプロジェクトが招聘した韓国のアーティスト・コレクティブ、ながたこうすけライス・ブリューイング・シスターズ・クラブ（RBSC）のソン・ヘミンとリュ・ソユンが約 2 ヶ月間の滞在制作と今後の展望について話します。

これまで国家とイデオロギーによる同化と排除を、食文化という観点から洞察してきた永田は、韓国滞在中、日本統治時代の酒造の歴史などを調べながら、ソウルの米農家や醸造所の協力を得てマッコリの自家醸造に挑戦しました。また、世代を超えた食品の調理や消費の伝統にまつわる歴史的、文化的、政治的物語を、米などの発酵プロセスになぞらえて表現してきた RBSC は、海女について調査し、日本各地の海女や研究者との対話を通じて、漁をめぐる環境的な配慮や労働の観点から海女を捉えなおすことを試みました。

両者の試みはコミュニティや生産者といった人的な要因だけではなく、微生物や気象といった目に見えないものにも影響を受けながら拡張していきます。その終わりのない実践は、変化を続ける「発酵」に似ているのかもしれませんが。2 組の活動を通して私たちの生きる危機の時代と未来を考えます。

* オンライン同時配信あり 〈逐次通訳あり〉 ※要予約（予約締切：11 月 24 日[金]）

予約：以下の URL または、QR コードから

<https://www.arcus-project.com/2023openstudios>



特別展示

ミロナリウ[クロディアナ・ミローナ&ユアン・チュン・リウ]による作品も公開！

2020-2021 年度に来日予定だったミロナリウがついにアーカスにやってきます。新型コロナウイルス感染症拡大のため、渡航はせずにオンライン・レジデンスプログラムに参加したアーティスト・デュオが、10月下旬から日本で滞在制作に取り組んでいます。ぜひこの機会に、レジデンスで作り上げた作品をご鑑賞ください。

ミロナリウ [クロディアナ・ミローナ&ユアン・チュン・リウ] (アルバニア/台湾)

millonaliu (Klodiana Millona & Yuan Chun Liu)

空間デザイナー兼リサーチャーであるアルバニア出身のクロディアナ・ミローナと台湾出身のユアン・チュン・リウによるロッテルダム在住のデュオ。ハーグ王立芸術アカデミーでインテリア・アーキテクチャを学び、建築を軸に領域横断的な活動を展開している。その発表形式は、建築の実践、映像、書籍、展覧会、ワークショップなど多岐に渡る。アーカスでは大日本帝国の統治下の台湾で品種改良されたジャポニカ米「^{ほうらいまい}蓬萊米」について調べ、風景に折り込まれた目に見えない力のありかを明らかにする試みを行っている。



写真：Pichaya Puapoomcharoen

※プログラムの内容については変更の可能性があります。
予約や最新情報は 下記の URL または QR コードより確認してください。

<https://www.arcus-project.com/2023openstudios>



お問い合わせ先

アーカススタジオ (火-土 10:00 -18:00)

〒302 - 0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 2 階 担当 | 恩田・藤本

TEL | 0297-46-2600 E-mail | arcus@arcus-project.com Web | www.arcus-project.com

アーカスプロジェクト実行委員会事務局

茨城県政策企画部地域振興課 担当 | 鈴木・大西

TEL | 029-301-2786

主催：アーカスプロジェクト実行委員会（茨城県、守谷市、公益財団法人茨城県国際交流協会）

後援：国際交流基金、ブリティッシュ・カウンシル

助成：[エクスチェンジ・レジデンス・プログラム 2023 報告会] 公益財団法人小笠原敏晶記念財団

認定：公益社団法人企業メセナ協議会